



ご当地グルメレシピ集の作成など 新たな PR 手法に取り組みながら日本各地の魅力を発信 ～「HYPER JAPAN Festival 2022」に出展～

(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所 所長補佐 西川 史星 (石川県派遣)

7月22日から24日の3日間、ロンドン中部の大規模イベント施設 Evolution London にて英国最大の日本文化紹介イベント「HYPER JAPAN Festival 2022」が開催されました。同イベントは日本の伝統文化からゲーム、アニメ、ファッションなどのポップカルチャーに至るまで幅広く網羅するイベントです。コロナ禍のためにリアルイベントとしては過去2年間にわたって開催されていませんでしたが、3年ぶりとなる今回、日本文化に直接触れることを心待ちにしていた約2万人もの来場者があり、アニメ・漫画・ゲームなどのキャラクターの衣装に身を包んだ来場者も数多く訪れ、会場は大いに賑わいました。



多くの方が訪れるクレアブースの様子



賑わうイベント会場の様子



折り紙や書道パフォーマンスにより来場者に日本文化に触れていただく様子

クレアブースでの PR

クレアブースにおいては、日本の各自治体のパンフレットの配布やポスターの掲示、そしてタブレット端末なども活用して日本各地の魅力を発信しました。また、折り紙の体験や、来場者の名前を書く書道パフォーマンスも好評で、ブースには多くの方にお訪ねいただきました。

PR 効果の持続性向上および 環境への配慮を意識した PR の実践

クレアロンドン事務所としては、今回のようなイベント当日に日本の各地域の情報・魅力に触れるだけでなく、イベント終了後も引き続き日本の地域に興味・関心を持っていただき、各地の情報との接点を絶やさないようにしていただきたいと考えました。日本の各自治体には、

英語版の観光サイトや SNS などで日々様々な情報を発信しているところが多くあり、これら各自治体の最新かつ魅力的な情報について、来場者に継続的な閲覧・フォローを促すことを目的として、各都道府県の英語版観光サイト、Instagram、Facebook、YouTube の各アカウントの URL を二次元バーコード化した一覧表を制作し、情報提供に努めました。

なお、自然環境保全のため、紙のパンフレットやパンフレットを入れるビニール袋などは受け取らない人々も欧州には多くおり、そのような来場者に各都道府県の観光情報や英語版のパンフレットを電子的に紹介するという意味でも、当該二次元バーコード表は有用でした。世界各国でネットゼロへの取り組みが進む中、地域・自治体の PR 素材（パンフ、ポスター、ビニール袋、ノベルティグッズなど）についても、今後より一層、環境に配慮したものにする必要があるのではないかと感じています。



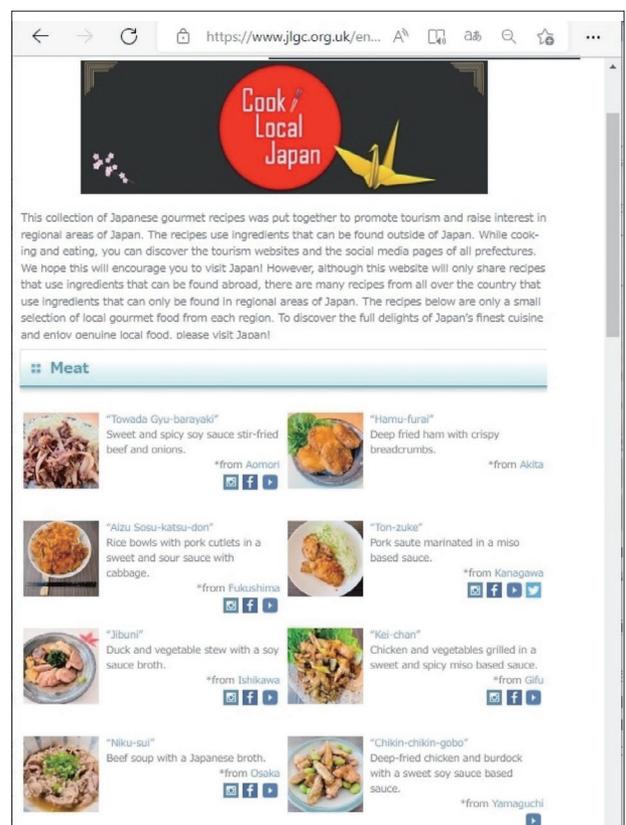
各都道府県の英語版の観光サイトや SNS の二次元バーコードを読み取る来場者

食を通じた地域魅力の発信

英国においては日本食に対する関心が継続的に高まっており、近年は寿司、天ぷらのような高級なものだけでなく低価格帯かつ庶民的な巻き寿司、ラーメン、うどん、カツカレーなどのメニューが流行し、定着してきています。このような傾向を踏まえ、クレアロンドン事務所では、日本各地のご当地グルメレシピと観光情報をセットにして提供することで、日本の地域への関心や認知度の向上を図るとともに、観光誘客を促進することを目指して新たな Web ページを作成し、早速今回の HYPER JAPAN で周知しました。



ご当地グルメレシピ&地域 PR ページのチラシ



ご当地グルメレシピ&地域 PR ページ
<https://www.jlgc.org.uk/en/cook-local-japan/>

ご当地グルメレシピを手に取られる来場者の評判は上々で、「大好きな日本食にいろいろ挑戦してみたい」という方も多くおられました。



レシピ集にある日本食をきっかけに会話が弾むクリア職員と来場者

なお、この Web ページで紹介している B 級グルメ、郷土料理などのいわゆるご当地グルメの選定基準については、手軽に様々な日本食を楽しんでいただきたいという基本スタンスから、①(クリアロンドン事務所が所管する数か国内の日系スーパーの品揃えなどを調査した上で)現地で調達可能な食材のみを使用して調理可能であること、②できるだけ簡単に調理できること(気軽さ)、③外国人に比較的受け入れられやすい味であること、といったことなどを意識して選んでいます。

また、長年にわたり国を挙げて減塩を推進してきた英国の人々の味覚を意識し、やや塩分量を抑えたレシピとなるよう工夫しました。そして、言語面においても、英語のノンネイティブの方にも理解してもらえるよう、日本語レシピ原稿の英訳にあたっては、洗練されたスタイリッシュな英語とすることよりは、平易な英語にすることを心がけ、より多くの方に利用していただけるように配慮しました。

このレシピ集の作成過程において、「現地で調達可能な食材のみを使用して調理可能であること」という1つ目の条件を満たさないために、惜しくもレシピ化が実現できなかった料理が非常に多く、この点からも日本のご当地グルメはその地元の食材に支えられた料理が非常に多いということを改めて認識しました。同時に、やはり外国人の方に実際に日本を訪れていただき、日本の豊か

な食材に支えられたご当地グルメを楽しんでいただきたいという想いをより一層強くしました。

来場者の関心事など

当イベント開催時には新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、日本への観光旅行(特に個人旅行)がいつから可能になるのかや、渡航前検査の必要性など入国規制(防疫措置)に関する問い合わせが非常に多く、ぜひ来年こそは日本に行きたいと考えているという声を数多く聞きました。また、温泉に関心が高い方も多く、タトゥーがあっても入浴できる場所についての質問にも対応しました。その他、車いすの方からはバリアフリー対応の観光地についての問い合わせがあったほか、和太鼓の体験をしたいという方、大自然を満喫したいという方など、それぞれ思い思いの旅行プランを考えておられました。

おわりに

クリアロンドン事務所では、今年度、アイルランド・ダブリンにおける「エクスペリエンス・ジャパン」、ドイツ・デュッセルドルフにおける「日本デー」そして今回の「HYPER JAPAN」と、日本関連イベントへの出展の度に、その PR 内容・手法について継続的改善を行いながら日本文化および地域の PR に努めてきています。今後も、引き続き来場者の意識や時代の流れに合わせ、各国の市民に対してどのように PR を行うのがよいかを考え続けながら、日本文化および日本の地域・自治体の情報発信を行ってまいります。



来場者の質問に対応するクリア職員